

# 平成22年度事業報告

財団法人秋田県体育協会

## ◆ 重点目標

「スポーツ立県あきた」宣言が、スポーツ秋田の再建とスポーツによる県勢発展につながるよう、県民に対するスポーツ振興の担い手としての役割と責任を自覚し、新たな視点から次のとおり各スポーツ振興事業の企画・推進に主体的に取り組む。

## ◆ 推進事業

### 1 競技スポーツ振興事業

#### (1) 県競技力向上対策事業

##### ア 指導体制の確立

##### ① アドバイザーコーチの活用

15競技25名を活用（H21 18競技29名）

##### イ 選手の育成強化

##### ① 秋田県高等学校強化拠点校制度の導入（新規事業）

20競技延べ25校を指定

##### ② テクニカルアドバイザーの活用

10名を強化拠点校、強化拠点地区に配置

##### ③ 競技団体及びスポーツ少年団・中体連・高体連との連携

沖縄美ら島総体の少年種別の集中強化と平成23年度北東北インターハイ強化との連携

##### ④ 社会人スポーツ組織の充実

強化チーム3競技6チーム（H21 3競技5チーム）

##### ウ 諸条件の整備・充実

##### ① 練習環境の整備・充実

県有体育施設の有効活用

##### ② 顕彰制度・支援活動の充実

秋田県スポーツ賞を通じた選手の意識高揚

##### エ スポーツ医科学の活用

##### ① 国体選手・指導者のメディカルチェック及びサポート

国体選手へ問診票の発送・回収

ドクター・薬剤師によるチェックとアドバイス

##### ② 国体への帯同ドクターの派遣

本大会4名 冬季大会（スケート）1名 冬季大会（スキー）2名

##### ③ ドーピング防止教育・啓発事業の推進

国体事前ドーピング防止講習会の開催 平成22年9月2日（木）

対象者 国体出場選手・監督

講師 県体育協会スポーツ医科学委員会 湊 昭策 氏

ドーピング防止研修会の開催 平成22年11月6日（土）

対象者 国体、インターハイ強化選手及び保護者

県内中・高運動部活動指導者

競技団体（強化責任者、医科学担当者、強化拠点校指導者、強化チーム指導者）

県体育協会医科学委員

講師 県体育協会スポーツ医科学委員会 鳥海 良寛 氏

(2) 東北総体、国体等への選手団派遣

ア 第37回東北総合体育大会（岩手県）

8月20日（金）～8月22日（日）

※主会期 エントリー数38競技 1101名

イ 第65回国民体育大会（千葉県）

9月25日（土）～10月5日（火）

※本大会 エントリー数36競技 437名

結果 天皇杯28位（881.5点） 皇后杯30位（471.0点）

ウ 第66回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会（青森・八戸）

平成23年1月26日（水）～1月30日（日）

スピード競技のみ出場 エントリー数8名

入賞数3

天皇杯得点29点（参加点スピード10点、アイスホッケー10点含）

男女総合成績23位

エ 第66回国民体育大会スキー競技会（秋田・鹿角）

平成23年2月12日（土）～2月15日（火）

エントリー数65名

入賞数23

天皇杯得点137（参加点10点含）

男女総合成績2位

皇后杯得点52点（参加点10点含）

女子総合成績1位（2年連続3度目）

天皇杯順位・得点 6位 166.0点（スキー・スケート・参加点含）

皇后杯順位・得点 12位 52.0点（スキー・スケート・参加点含）

(3) 第61回県民体育大会（41競技）

39競技 8751名（中止2競技）

## 2 生涯スポーツ振興事業

(1) 第40回県民スポーツ事業

18競技 2714名（中止1競技）

(2) 総合型地域スポーツクラブの普及及び創設並びに活動支援

・スポーツクラブ育成委員会の開催

3回 6月10日（木）・10月22日（金）・1月21日（金）

・各地区啓発研修会の開催 7回

・総合型クラブ創設・自立支援クラブ現地ヒアリング 28回

・クラブマネージャー養成講習会の開催

4日 7月10日（土）・11日（日） 11月6日（土）・7日（日）

・総合型クラブ連絡協議会総会の開催 6月18日（金）

・総合型クラブ連絡協議会運営委員会 2回 4月27日（火）・11月11日（木）

・住民総参加型「チャレンジデー」の開催 5月24日（水）

(3) 全県指導者研究協議会

(4) 日本スポーツマスターズへの選手団の派遣 (三重県)  
テニス・バレーボール・バスケットボール・空手道  
・ボウリング・ゴルフ・軟式野球(7競技)

(5) スポーツ少年団の活動推進事業  
別添 平成22年度秋田県スポーツ少年団事業報告書のとおり

### 3 障害者スポーツ振興事業

(1) 障害者スポーツ大会への協力

(2) 障害者スポーツ関係団体の連携協力

### 4 講習会・研修会等の開催

(1) 日本体育協会公認指導員・上級指導員養成講習会 (3競技 4コース)  
・ソフトテニス(指導員16名受講)  
・ハンドボール(指導員17名・上級指導員13名受講)  
・卓球(上級指導員16名受講)

(2) スポーツ指導者研修会「スポーツ障害防止事業」  
第1回 平成22年5月16日(日)シャインプラザ平安閣 85名  
第2回 平成22年11月27日(日)シャインプラザ平安閣 80名

### 5 広報事業

(1) 機関誌「スポーツ秋田」(年2回 各2,000部)  
167号・168号

(2) 「スポーツ行事予定」 (年1回 3,000部)  
6月発刊

(3) 県体育協会ホームページによる情報発信  
選手強化事業(各大会結果含む)・スポーツ医科学情報発信

### 6 顕彰事業

(1) 秋田県スポーツ賞  
功労賞5名、荣誉賞5名、国際優秀賞4名、国際奨励賞3名、有功賞2名  
栄光賞個人43名、団体12団体  
奨励賞個人24名、団体2団体

(2) 人見スポーツ賞  
個人の部 渋谷 璃沙 (花輪高校) 陸上競技  
佐藤 亜紗美 (花輪高校) スキー競技  
団体の部 能代高校軟式野球部

(3) 畠沢国体賞  
個人の部 三浦 裕芽子 (秋田県体育協会) 馬術競技  
団体の部 クロスカントリーリレー女子チーム スキー競技

(4) 辻ジュニアスポーツ大賞

個人の部 沼森 春奈 (花輪第一中学校) スキー競技

団体の部 秋田北中学校ラグビーフットボール部

## 7 人見スポーツ障害基金事業

(1) 障害防止対策事業

秋田県スポーツ指導者協議会へ委託

(2) 死亡弔慰金の給付

今年度実績なし

(3) スポーツ障害者に対するカウンセリング

今年度実績なし

## 8 財政基盤の確立

(1) 賛助会員の募集

法人 126 団体

個人 34 名

(2) 寄付金の募集

役員 42 名

法人 2 団体

## 9 公益財団法人への移行の認定申請の取組

公益財団法人への移行の認定申請に向けて検討小委員会を設置し、定款の整備等計6回の検討会を開催した。平成24年4月に登記するため、平成23年8月に申請するよう準備を進めている。